

クロバイ

[木本] 《忌避》



葉の先端は長く尾状。



花期には遠くからでも目立つ。



葉の色は周囲の樹より濃い。

区別のポイント

樹皮は黒褐色で皮目が多い。葉は濃い緑色で革質、両面に光沢がある。葉の先端は尾状に長く尖る。若い枝は紫褐色で稜がある。

形態 常緑高木。高さ 10m。台風などで落葉するがすぐに芽吹く。

分布 本州（関東南部以南）・四国・九州・沖縄

名前の由来 ハイノキの仲間は木灰を媒染剤として使われた。本種は葉の色が濃く幹が黒いことから。

葉 〈全体〉長さ 3～7 cm、幅 2～3 cm の長楕円形。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉長さ約 1 cm、紫褐色を帯びる。

〈基部〉くさび形。

〈葉先〉尾状に長く尖る。

〈縁〉鈍頭の浅い鋸歯。

備考 9 では中。

出典 4, 9, 14